

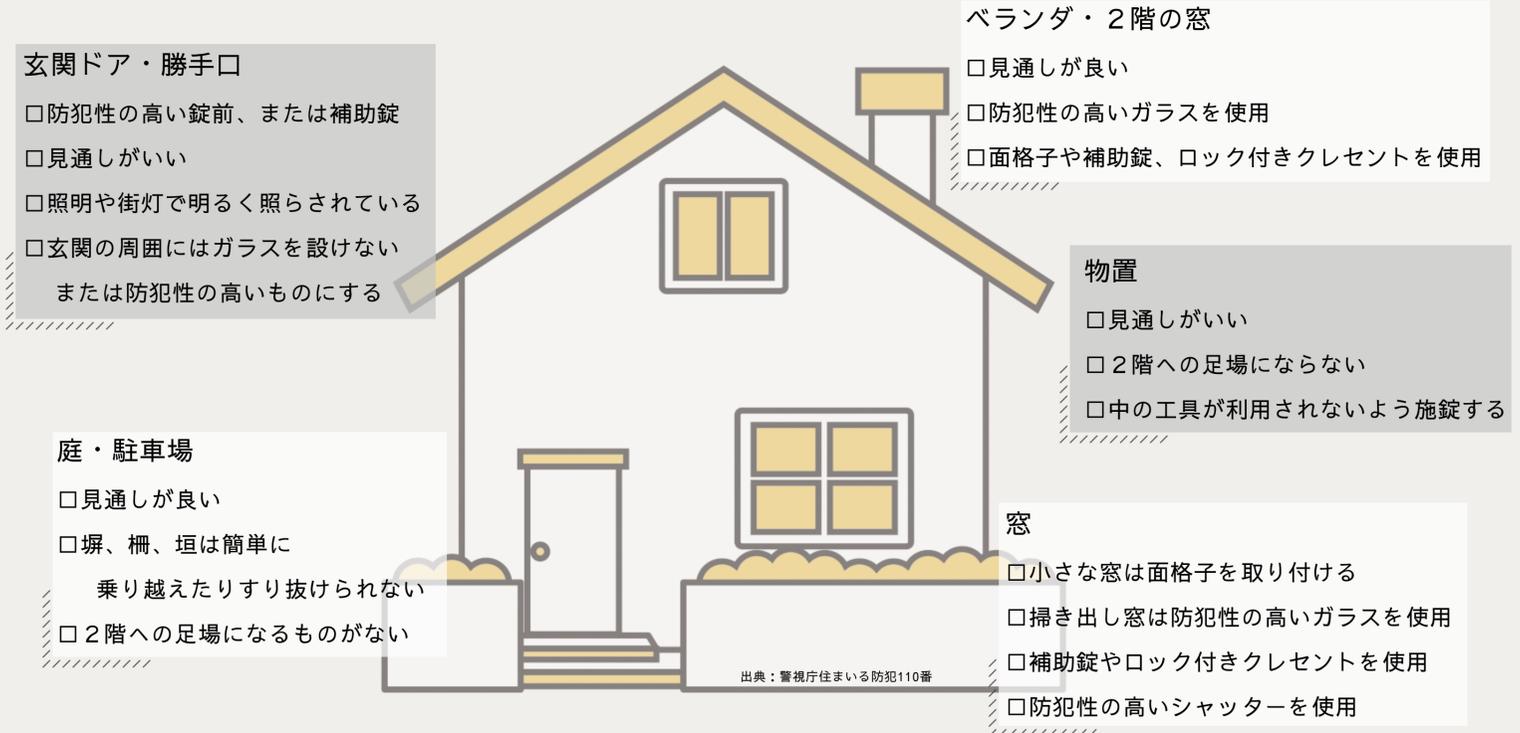
防犯性が高い家を考える

住まいの防犯

ひろしま住生活月間

住まいの防犯チェックリスト

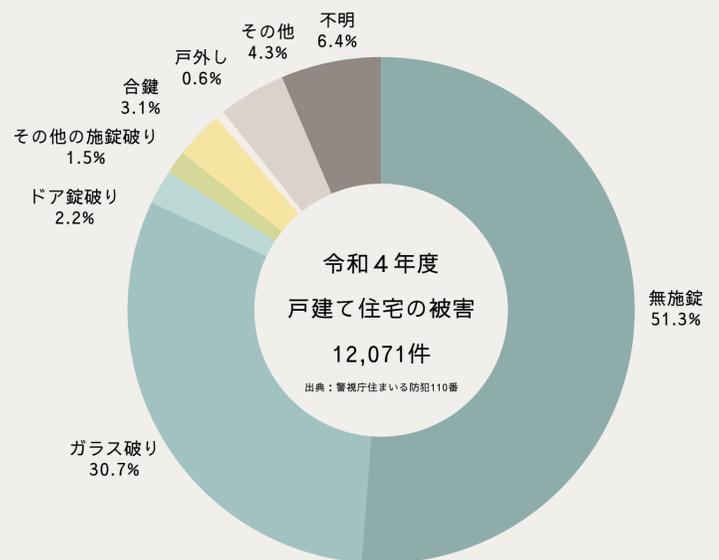
- 侵入者は、「光に照らされていること」、「音が鳴ること」、「時間がかかること」を嫌がります。効果的に取り入れて、住まいを守りましょう。



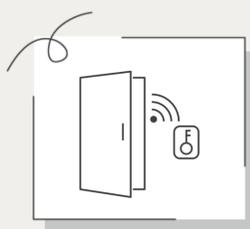
侵入犯罪の手法

住宅などの建物に侵入して行われる犯罪を侵入犯罪といいます。侵入の手口として最も多いのが無施錠、つまり鍵の開いている扉・窓からの侵入です。

- ▶▶▶ ちょっとの外出でも施錠しましょう。
玄関・勝手口を照らす、玉砂利を敷くのも効果的です。

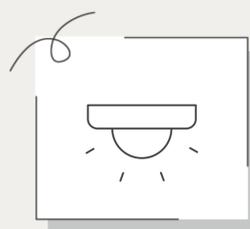


住まいを守るツール



電子錠
(スマートロック)

鍵の複製やピッキングの対策に。
車のキーのようなタイプ、カードキータイプ、スマートフォンと連動して開くタイプなどがあります。



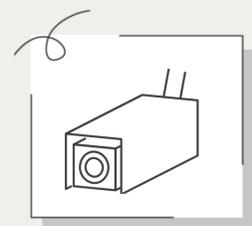
センサーライト
(人感ライト)

玄関・勝手口周辺を明るく照らします。
人の動きに反応して点く人感センサータイプのほかに、一定時間になると点灯するものも有効です。



インターフォン

侵入者は、インターフォンで留守か判断することも。
録画機能付きのタイプを使用することで、記録を残すことができます。スマートフォンに訪問者を知らせるものもあります。



防犯カメラ

犯行を記録するだけでなく、記録されているとわかることで抑止にもつながります。
死角をカバーするように設置すると効果的です。

事前に情報を知ろう

住まいの防災

ひろしま住生活月間

ハザードマップを確認しよう

- 地域のハザードマップを確認して、事前に自宅、学校、職場など、身の周りの災害
- リスクを把握しましょう。



ハザードマップとは

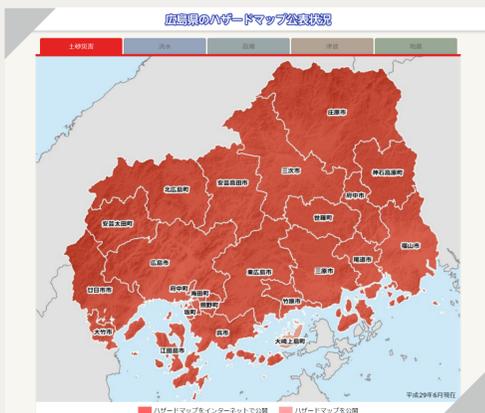
津波や地震、土砂災害などで「今後起こりうるかも知れない被害」の予測や避難場所等を、地図上で見えるようにしたものです。

過去の災害では、洪水ハザードマップを見た住民は、見ていなかった住民よりも避難の開始が約1時間早かったという研究もあります。

地域のハザードマップをもう一度確認してみましょう。

広島県ハザードマップ公開状況

広島県内各市町のハザードマップ公開状況をまとめています。各市町のHPへのリンクから、お住まいの地域のハザードマップをご確認ください。



重ねるハザードマップ

国土交通省・国土地理院が公開するハザードマップ洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

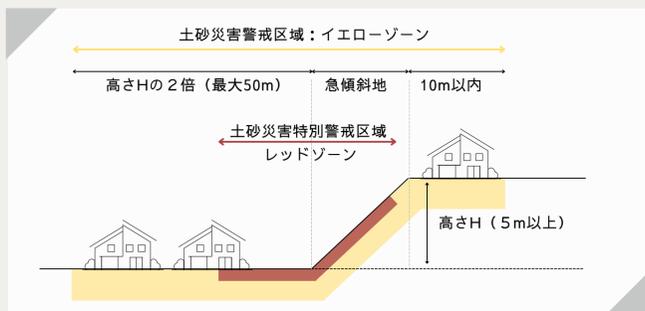


土砂災害のリスク

土砂災害の危険性がある区域をイエローゾーン・レッドゾーンとして定めて公開しています。

土砂災害警戒区域：イエローゾーン
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域：レッドゾーン
土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると求められる区域



防災情報発信中



広島県
「みんなで減災」はじめての一步

広島県防災情報
メール通知サービス



広島県防災Web

キキミルAR



災害に備えた住まいと暮らし

住まいの防災

ひろしま住生活月間

◦ 住まいのレジリエンスを高めよう

- レジリエンスは、外部から受ける力に対するしぶとさ、強靭さ、回復力を意味します。
- 住まいのレジリエンスを高めることは、災害に備えた住まいづくりに重要です。



免疫力

→ 平常時のレジリエンス度

- ・健康被害や事故が起こりにくくなっているか
- ・省エネルギーな住まいになっているか

土壇場力

→ 発災時のレジリエンス度

- ・災害リスクを把握しているか
- ・命を守る行動のための備えができているか
- ・災害時に住まい手の命を守り、建物そのものの被害を抑え、復興しやすい住まいとなっているか

サバイバル力

→ 災害後のレジリエンス度

- ・災害後インフラ等の地域の機能が回復するまで自活可能な住まいとなっているか

出典：一般社団法人日本サステナブル建築協会

家の中でできる備え

家具や窓にも備えが必要

地震で家具が動いてけがの原因や避難の妨げになったり、台風で窓が割れるなど、家の中にも危険が潜んでいます。

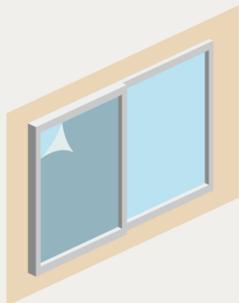


窓ガラスの飛散防止

窓ガラスへの対策

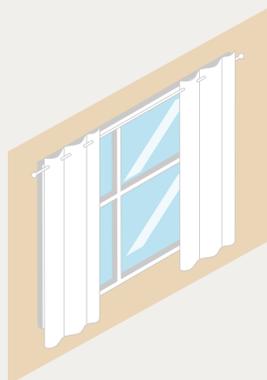
飛散防止対策済みのガラスにするか、飛散防止フィルムを貼りましょう。

地震・台風により窓ガラスが割れた時に飛散するのを防ぎます。



習慣でできる対策

窓を施錠し、レースカーテン（昼間）や、カーテン（夜間）を引くと飛散防止フィルムの代わりになります。



家具の転倒防止

地震の際の負傷のうち、約30～50%は家具などによるものといわれています。家具の転倒、落下、移動によって負傷したり、避難が妨げられることのないような家具の配置をしましょう。

☑ キャスターのついた家具はロック

日常的に動かす家具は移動時以外はロックできるように。定位置があるものは壁や床に金具などで固定すると効果的。

☑ 机や椅子には滑り止めを

粘着マットや滑り止めシートが有効です。

地震時に家具が滑って移動するのを防ぐ効果があります。

・ L字金具

...家具と壁を金具で固定

・ 粘着シート

...家具の底と床面を接着

・ チェーン

...吊下照明の揺れを防ぐ

・ キャスター下皿

...キャスターの移動を防止

・ ボール式器具

...家具と天井を突っ張って固定

・ 着脱式移動ベルト

...壁とキャスター付き家具を固定

・ ストッパー

...家具下にくさびを打ち込み、

壁側に傾ける

出典：東京都防災ホームページ

地震に備えた家づくり

住まいの防災

ひろしま住生活月間

強い家にするために何が出来る？

- 家を建てる時に地震に備えてできる対策があります。
- 技術や制度を使った備えを知ってより強い家づくりを目指しましょう。



技術で守る

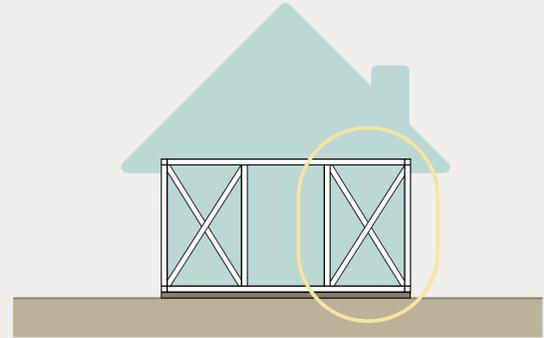
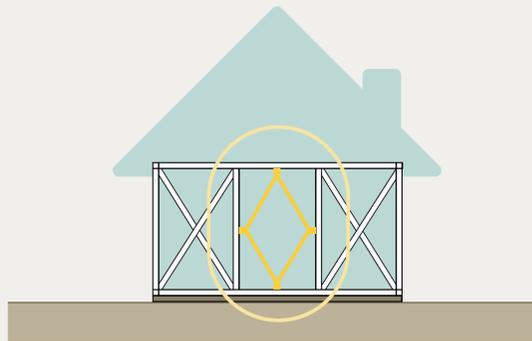
～地震に備えた3つの技術～

1 耐震構造

強度を高めて揺れに「耐える」

地震の力に対して建物の構造の強度を高めることで地震の揺れに「耐える」構造。

柱と柱の間に筋交いを施したり、耐力壁を効率よく配置することで耐震性を高めている。

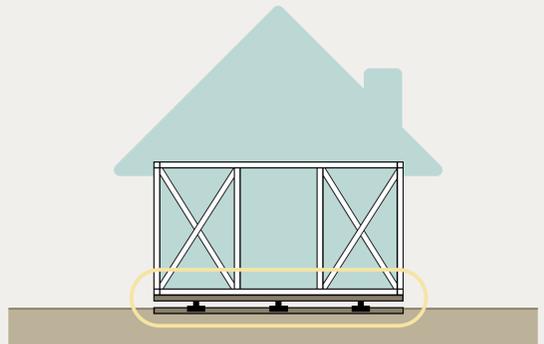


2 制震構造

揺れを吸収して「制御する」

建物内部に設置した制振装置で吸収することで地震の揺れを「制御する」構造。

建物の損傷や変形が軽減されるため、大規模な地震や繰り返しの地震にも有効。



3 免震構造

建物と地面を離して揺れを「免れる」

免震装置を設置して建物と地面を離すことにより地震の揺れを「免れる」構造。

建物が地震の揺れそのものをなるべく受けないことをめざしている。

等級で守る

～地震に備えた3段階の等級～

耐震等級	地震への強さ	強さのイメージ
耐震等級1	建築基準法レベルの強さ	一般的な戸建て住戸に相当 
耐震等級2	建築基準法の1.25倍の強さ	災害時には避難所にもなる 病院や学校の耐震性に匹敵  
耐震等級3	建築基準法の1.5倍の強さ	防災・支援活動の拠点となる 消防や警察の耐震性に匹敵  

▶ 耐震改修工事で住宅の耐震等級をあげることができます。

広島県では「耐震化総合窓口 ～住宅・建築物の耐震化支援情報サイト～」にて住宅・建築物の耐震化支援情報をまとめて発信中！



詳しくはこちら